



国立大学法人 **千葉大学**  
National University Corporation  
Chiba University

## ニュースリリース

平成24年3月14日

ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012 千葉大学チーム  
代表 川瀬貴晴（千葉大学大学院工学研究科 教授）  
代表 栗生 明（千葉大学大学院工学研究科 教授）  
安藤正雄、和泉信之、上野 武、古在豊樹、野口 博  
前野一夫、森 千里、鈴木弘樹

### ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012

千葉大学チーム「おもてなしハウス」が日本から初参加。  
会場での出展に先駆け、関係者・メディアのみなさまに公開いたします。

千葉大学は、このたび 2012 年 9 月 14 日よりスペイン・マドリードで開催される、ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012 に日本の大学チームとして初参加致します。ソーラー・デカスロンは、太陽光の力のみで快適な次世代住宅の建築設計を行う世界規模の学生建築コンペティションです。

今回、千葉大学は日本が古くから培ってきた「おもてなし」の心を、21 世紀の都市と暮らしに求められる新たなコンセプトとして解釈し直し、これからの都市環境やエネルギー、都市の中の農的な暮らしなどを考慮した次世代型住宅として提案いたします。

このプロジェクトでは総合大学としての特色を生かし、工学部のみならず医学部、園芸学部などの研究成果も取り入れ、食と農、健康と環境などをトータルに考慮した、特色ある次世代型住宅の実現をめざします。



#### 1.ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012 とは？



- ・ スペイン、マドリードにて 2012 年 9 月 14 日から 30 日まで開催
- ・ 二人家族の生活に必要なエネルギーの全てを太陽光でまかなう住宅を展示し審査をする国際大会
- ・ 省エネ性のほか、デザイン、サステナビリティ、市場性、コミュニケーションなど 10 項目を国際審査

団により審査、グランプリを決める

- ・ 産学が連携し、学生が主体となって企画、設計、建設までを行う
- ・ 自然エネルギー利用の啓発を目的に 2002 年からアメリカで始まり、これまでにアメリカ大会 5 回、スペイン大会 1 回が開催
- ・ 2011 年アメリカ大会(ワシントン DC)では 30 万人が来場
- ・ 日本からの出場はこれまで一度も無く、今回、千葉大学が初めて、唯一の参加
- ・ 2012 年大会は世界 15 カ国から 20 チームが参加

## 2.おもてなしハウスとは?

千葉大学がソーラー・デカスロン・ヨーロッパ 2012 で披露するのは、エネルギーと食の地産地消を考えた「おもてなしハウス (Omotenashi House)」という住宅です。

「おもてなし」とは、おもいやりを”もの”と”こと”を用いて裏表の無い心で誠実に伝えること。茶道や華道、日本の伝統的な食文化などに起源する、日本人の心の本質的な価値観です。

### ●+▲+■=おもてなしハウスのポイント

おもてなしハウスでは、二人家族の生活に必要な電力のすべてを太陽光と太陽熱で賄います。ここではエネルギーの自給だけでなく、居住者の健康と食の安全に配慮した、●(=Sun)+▲(=Nature)+■(=Engawa)という、3つの視点を設定しました。



おもてなし

### ●=Sun –Health and Sustainability–

- ・ 太陽光を中心に日本の先端技術を最大限に活用した、環境と健康に良い居住環境の創造。
- ・ 積水ハウス(株)の最先端の工場において生産された独自の構造システムによるプレハブ住宅をベースに、(株)カネカの瓦屋根と一体となった美しいソーラーパネルが載ることで、市場性と省エネ性を兼ね備えた高品質の次世代ソーラー住宅が実現。
- ・ 加えて千葉大学予防医学センターが産学協同で開発を進めたケミレスタウン・プロジェクトの研究を踏まえ、空間に由来する健康影響を未然に防ぐための居住環境や住まいかたを提案。
- ・ さらに日本の環境性能評価制度 CASBEE で最高評価 S の獲得を前提に設計。

### ▲=Nature –Life with Plants–

- ・ これからの社会に必要な「農的環境」を都市の居住空間に取り入れる試み。
- ・ 千葉大学園芸学部・環境健康フィールド科学センターを中心として研究が進められている植物工場の技術を応用し、家庭内で野菜を効率的に育てられる小型植物工場を設置。
- ・ ハウス前庭には家族が半年間自給できる米が収穫できる水田や、作物を育てる壁面緑化など、随所に暮らしの中に植物を取り入れる新たな提案を行う。

### ■=Engawa –Link to Outside–

- ・ 日本の伝統家屋が有する縁側を周囲に回し、生活時間を豊かにする「出会いの場」をデザイン。
- ・ 縁側は室内外を結ぶ中間領域として機能し、近所の人を訪れお茶を飲んだり、植物を育てたり、生活の様々な愉しみを与える。
- ・ 自由な間取りを生む障子・ふすまや移動式の畳によって、軒下の半屋外空間と室内が緩やかに繋がり、様々な生活環境に対応。

### 3.協力企業・団体と具体的な協働内容について

後援：国土交通省、千葉市、柏市

#### ■建物協力企業・団体（2012年3月14日現在）：

積水ハウス(株)：建物外装・内装部材全般の提供。設計支援、建物施工指導。ソーラー・デカスロンプロジェクト開始当初からのメインスポンサー。

(株)カネカ、カネカケンテック(株)\*：太陽電池、断熱材、有機EL、畳、ユニフォーム提供。

(以下あいうえお順)

アズビル(株)：HEMS 支援、協賛金支援

伊藤忠ロジスティクス(株)：物流支援

エリーパワー(株)：蓄電池協力

大塚アグリテクノ(株)：植物工場用種の提供

河村電器産業(株)：分電盤、サーキットブレーカ提供

菊水化学工業(株)：高反射塗料協力

(株)木の繊維：畳壁材料協力

(株)国枝：畳壁製作協力

倉敷紡績(株)：真空断熱材協力

クラレファスニング(株)：マジックテープ協力

クリナップ(株)：システムキッチン提供

(株)住環境計画研究所：協賛金支援

新東(株)：瓦、環境瓦提供、瓦施工指導、手ぬぐい提供

太陽工業(株)：シーソーPV 協力

千葉大学経済人倶楽部「絆」

(株)チャフローズコーポレーション：不燃仕上げ材提供

(株)デジタル：HEMS タッチパネル提供

財団法人東京顕微鏡院：室内空気測定分析支援

(株)東芝：エアコン、PC、タブレット端末提供

東芝マテリアル(株)：光触媒提供

東芝ライテック(株)：LED 照明提供

東光電気(株)：室内温度・湿度・照度センサー提供

東洋電機(株)：変圧器提供

東洋熱工業(株)：設備設計支援

東レペフ加工品(株)：樹脂畳表協力

中川産業(株)：クラスファイバープレスボード協力

(株)日新システムズ：HEMS 支援、電力計付コンセント提供

日東紡績(株)：不燃天井膜提供

日本板硝子(株)：真空ガラス協力

萩原(株)：畳表協力

白鶴酒造(株)：ディナーパーティ協力

パナソニック(株)：冷蔵庫他家電提供、植物工場支援

(有)浜尾畳商店：遮音パネル製作協力

(株)帆風：協賛金支援

財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター：協賛金支援

(株)藤崎事務所：コミュニケーション支援

三井不動産(株)：スマートハウス PR、国内再建設支援

三菱製紙(株)：潜熱蓄熱材提供

三菱電機(株)：換気扇提供

緑屋電気(株)：LonWorks 提供

矢崎総業(株)：太陽熱給湯システム提供

山田照明(株)：スタンド照明提供

(株)LIXIL：サニタリー提供

(有)レイズ：断熱材加工協力

ワゴジャパン(株)：リモート IO 提供

#### ■外構協力企業・団体（2012年3月14日現在）

一般社団法人緑のまちづくり支援機構：

機構メンバー（\*印）協賛統括、緑化支援

(株)アルティマ\*：壁面緑化ワイヤ提供

田島緑化(株)\*：防水シート提供

ミサワエクステリア(株)\*：外構用再生木デッキ提供

YKK(株)、YKK AP(株)：アルミ材、スロープ材提供

### 4.メディアレビュー及び関係者内覧会の概要

**日時** 2012年3月28日(水)

①「おもてなしハウス見学会」 13:00～14:30

②共同記者会見 14:30～15:30

③メディア向け内覧会 15:30～16:45

④レセプションパーティ 17:00～18:30

※②からの参加でも全体を把握することができます

#### **会場**

「おもてなしハウス見学会」 千葉大学西千葉キャンパス正門広場前

共同記者会見 千葉大学西千葉キャンパスけやき会館 3F レセプションホール

メディア内覧会 千葉大学西千葉キャンパス正門広場前

レセプションパーティ 千葉大学西千葉キャンパスけやき会館 3F レセプションホール

会場はいずれも JR 西千葉駅から徒歩 5 分、または京成みどり台駅より徒歩 5 分です。

詳しいアクセス方法は <http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/> をご覧ください。

※お車でご越しの際は事前にご相談ください。



**プログラム内容** ※メディアの皆様は②部と③部の参加で全体を把握できます。

**①おもてなしハウス見学会（関係者、一般見学者、一部メディア向け）**

事前検証のためにキャンパス内に建設した「おもてなしハウス」を、本大会に先駆け一般公開いたします。今回の見学会では、関係者及びメディアのみなさまに「おもてなしハウス」を体験していただくとともに、関係者が一堂に会し、施設内外にて設計及び企画内容の詳細をご説明させていただきます。

**②共同記者会見（関係者、メディア向け）**

メディア及び関係者のみなさまを対象に、ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ 2012 のご紹介と「おもてなしハウス」のコンセプト・特徴、産学連携の取り組みなどについてご説明させていただきます。会見では千葉大学学長、協力企業の代表として積水ハウス株式会社様、株式会社カネカ様、三井不動産株式会社様ほかご協力いただいた各企業のご担当者様にもご同席いただきます。

**③メディア向け内覧会（関係者、メディア向け）**

メディアのみなさまを主対象とした「おもてなしハウス」の内覧会です。本大会さながらに学生が主体となり、お茶や生け花、音楽演奏など、さまざまなデモンストレーションも併せてご体験いただけます。

**④レセプションパーティ（関係者、メディア向け）**

メディア及び関係者のみなさまにお集まりいただき、ささやかなレセプションパーティをご用意いたしました。ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ 2012 本大会に向けた意気込みを高めるとともに、関係者の交流・親交を深める場とさせていただきます。

「おもてなしハウス」をぜひ、ご覧いただき、貴媒体を通じ内外に広くご紹介いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

[添付資料(データ)] ※当日お配り致します。

- 1) おもてなしハウスの外観、内観イメージパース
- 2) おもてなしハウスのロゴマーク
- 3) ソーラー・デカスロン・ロゴマーク
- 4) 昨年開催されたソーラー・デカスロン 2011 アメリカ大会の写真

本件に関するお問い合わせ先  
千葉大学大学院工学研究科 建築・都市科学専攻  
建築・都市空間デザイン研究室 鈴木弘樹  
Tel : 043-290-3162 Fax : 043-290-3162  
E-mail : suz-hiro@faculty.chiba-u.jp

ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ 2012  
「おもてなしハウス」内覧会・共同記者発表・レセプションパーティ  
参加申込書

※メディアの皆様は②部と③部の参加で全体を把握できます。

参加をご希望される方は、恐れ入りますが、事前に FAX か e-mail でご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ：田島翔太（学生幹事） mail: info@omotenashi-house.jp

返信先 FAX. **043-290-3162**

2012年3月28日(水)

※参加ご希望のプログラムにチェックをしてください。

- |   |             |
|---|-------------|
| <input type="checkbox"/> ①「おもてなしハウス見学会」 | 13:00～14:30 |
| <input type="checkbox"/> ②共同記者会見        | 14:30～15:30 |
| <input type="checkbox"/> ③メディア内覧会       | 15:30～16:45 |
| <input type="checkbox"/> ④レセプションパーティ    | 17:00～18:30 |

媒体名：\_\_\_\_\_

御所属：\_\_\_\_\_

御芳名：\_\_\_\_\_

電 話：\_\_\_\_\_

ファックス：\_\_\_\_\_

メールアドレス：\_\_\_\_\_

〒  
住 所：\_\_\_\_\_

御同伴者 所属：\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_